

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	LikePot基山		
○保護者評価実施期間	令和6年 11月 13日		～ 令和6年 12月 10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	33世帯(37名)	(回答者数) 22名
○従業者評価実施期間	令和6年 11月 13日		～ 令和6年 11月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 7名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 1月 17日		

## ○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	日々の活動内容を小学生、中学生と年齢に分けて行っている。	内容が難しいと感じられる場合は、中学生でも小学生と同じ内容で行い、個々の特性に応じて変更するなどの工夫をしている。	スタッフが社内・外部研修に参加することで知識を広げ、支援の質の向上を図れるように進めていく。
2	運動プログラム(サーキットメニューや運動遊び)を取り入れた活動を行っている。	子ども達の発達の手台である五感、前庭覚、固定受容覚を育むプログラム作成をスタッフ全体で検討して取り組んでいる。	研修会参加などを通してスタッフのスキルアップを図り、更に子ども達が主体的に動けるようなプログラム作成を行う。
3	ご家族へのサポートを丁寧に行っている。	電話やメールなどで相談があった場合には、時間調整を行いながら、ご家族の思いに寄り添い、一緒に方向性を導き出せるように面談などを行っている。	保護者の方同士の交流や学びの機会を提供できるように、ご意見を伺いながら安心して子育てを出来る環境のサポート体制を整えていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	スタッフの支援力	・スタッフの経験年数、スキルにばらつきがある ・専門職(作業療法士・言語聴覚士等)が在籍していない。	・研修参加や資格取得によりスタッフの支援力をあげる。 ・求人を出すとともに、社内において横のつながりを強化し、他事業所と協力して専門職の助言をもらえる機会を作る。
2	保護者への伝達が不十分な面がある。	評価表からも読み取れるように、全保護者の方へ伝わっていない部分もあるため、伝達の仕方の見直し及び強化が必要。	保護者の方への相談援助を強化するとともに、掲示やお便りの伝達方法の見直しを行い、保護者の方に説明を行うよう進める。
3	中学生の支援時間が短く慌ただしい現状がある。	中学生の下校時間が遅いため、十分な支援時間を確保することが難しい現状がある為、個々の興味関心に応じて活動の主を優先するように進めている。	支援内容とスケジュールを工夫して計画を立てていく。